

東京都立葛飾総合高等学校 令和5年度 音楽Ⅰ 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 A組～E組
 教科担当者：(A組：山田泰) (C組：山田泰) (E組：山田泰)
 使用教科書：(MOUSA1(教育芸術社))

教科 芸術 の目標

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅰ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	単元「発声法を知ろう」 【知識及び技能】 様々な声の種類と出し方を理解して歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 その場面に応じた表現は何かを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 心理的抵抗感を払拭し、身体も動かしながらのびのびと歌える雰囲気醸成する。	・指導事項 発声法 ・教材 「翼をください」	○				・歌声を意識して発声している ・強弱を用いた表現の工夫をしている ・のびのびと演奏している	○	○	○	3
	単元「イタリア歌曲に親しもう」 【知識及び技能】 ベルカント唱法を理解して歌う。 【思考力、判断力、表現力等】 その場面に応じた表現は何かを理解し、工夫して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 原語で歌唱し、また現地の文化に触れる事で、思い切った表現がどこまでできるかを知り、実践する。	・指導事項 発声法、音楽の三要素と表現の三要素と歌詞の組み合わせ ・教材 「オーソレミーオ」 「カロミオベン」	○				・ベルカント唱法を意識して発声している ・歌詞とメロディの関わりについて考え、工夫して表現している ・思い切った演奏をしている	○	○	○	10
	単元「創作してみよう」 【知識及び技能】 5音音階を理解してメロディを創作する。また、それを演奏してみる。 【思考力、判断力、表現力等】 メロディの成り立ちを考え、ふさわしい音の並びを創作する。創作した曲を演奏して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の成り立ちに関心を持つ。	・指導事項 5音音階、作曲技法 ・教材 「琉球音階」 キーボード 一人一台端末	○	○			・5音音階を理解している ・自作曲を演奏できる ・メロディの流れを工夫している ・作曲法を理解して使用している	○	○	○	10
2 学 期	単元「日本歌曲に親しもう」 【知識及び技能】 日本語の語感を知り、表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 その場面に応じた表現は何かを理解し、工夫して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の背景を知る事で、その曲の持つ魅力を深く分析する	・指導事項 日本語歌詞の唱法、音楽の三要素と表現の三要素と歌詞の組み合わせ ・教材 「この道」	○				・日本語固有の発音を知り、意識している ・歌詞とメロディの関わりについて考え、工夫して表現している ・楽曲の背景を調べ、時代背景を知る。	○	○	○	10
	単元「合唱に親しもう」 【知識及び技能】 日本語詞の歌い方を元に、既知の合唱曲をより探求する。ベルカント唱法を用いて、より響きのある歌声を探求する。 【思考力、判断力、表現力等】 美しい日本語の発声を判断し表現する。響きのある歌声を判断し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分たちでパート練習を行い、改善点などを指摘しあって仕上げる。	・指導事項 日本語歌詞の唱法、音楽の三要素と表現の三要素と歌詞の組み合わせ、ハーモニー ・教材 「春に」	○				・学んだベルカント唱法と日本語の発音を生かして歌っている ・ハーモニーを意識して演奏している ・自分たちで表現方法を話し、練習して生かそうとしている	○	○	○	10
	単元「音色を中心に聴いてみよう」 【知識及び技能】 各楽器や楽器群の音色の重なりを知り、その表現を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 その音色の表現意図は何かを考え、発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 その曲の時代背景等を探り、表現方法を根拠を持って批評する。	・指導事項 楽曲内における楽器の使用方法和効果 ・教材 「ボレロ」、Jazzから数曲 Rockから数曲 一人一台端末				○	・各固有の音色を知り、その表現を知る。 ・作曲家や演奏者の意図を推し量り、表現意図がなんなのか発表できる。 ・楽曲の背景を調べ、時代背景を知る。	○	○	○	10

